

(問い合わせ先)

経済企画庁 総合計画局 社会資本班

計画官 税所 朗 (TEL: 03-3581-9390)

副計画官 古川 陽 (TEL: 03-3581-0764)

「物流・情報通信ベストプラクティス研究会」中間報告のポイント

～ ITを活用した物流のスピード化 ～

平成12年6月26日

経済企画庁総合計画局

1. はじめに

21世紀を迎えるに当たり、我が国経済社会をグローバル化に対応したものとし、活力ある我が国経済社会の再構築を図るため、世界最先端の事業環境を整備する必要があり、こうした観点から、「経済社会のあるべき姿と経済新生の政策方針」(平成11年7月閣議決定)において、物流・情報通信分野の包括的な改革方策について早急に検討を行う旨盛り込まれたところ。

総合計画局では、こうした検討に資するため、局長の私的研究会として、「物流・情報通信ベストプラクティス研究会」(座長: 國領二郎慶應義塾大学大学院教授、委員及び検討経過: 別添参照)を設置し、IT革命という時代背景の下で我が国がグローバルな競争を勝ち抜くためのこれからの必須の条件ともなりつつある「ネットワーク取引」に焦点を置いて、世界最先端の事業環境を整備するために重要な役割を果たすと考えられる物流・情報通信分野のあるべき姿(物流・情報通信分野の「世界のベストプラクティス」)を検討していただいていたが、このたび、これまでの検討の成果を中間的にとりまとめいただいたので今般報告。

なお、検討の成果は、経済審議会(フォローアップ)報告書に反映される予定。

2. 検討結果

(報告の基本的なメッセージ)

IT革命の進行に伴い、インターネットの利用を中核としたネットワーク取引が今後経済の中で大きなウェイトを占めることが予想される中で、世界最先端の事業環境を実現するためには、取引全体のスピード化のボトルネックとなりがちな「物流のスピード化」が最大の鍵。すなわち、光や電波と異なり、瞬間移動が困難な現物としてのモノを可能な限り速く移動させることが取引全体のスピード化の大きな課題。

したがって、情報通信ネットワークの高質化とあわせて、ITを活用した「物流のスピード化」を実現させることにより、物流・情報通信分野の「世界のベストプラクティス」の実現を目指すべき。

(主要な政策課題)

(1) 情報通信ネットワークの高質化

ネットワークの高速・大容量化と低廉・定額化
モバイルの積極的活用
通信と放送の融合
ネットワークの利便性の向上等

(2) ネットワーク取引の周辺環境の整備

ネットワーク取引に対応した制度の整備
安全・危機管理対策の強化
教育におけるグローバルリテラシーの確保
政府部門の情報化

(3) ITを活用した物流のスピード化

今後、ITの活用により、以下のような施策に積極的に取り組むことが必要。

基幹的なインフラの整備

- ・ITS（高度道路交通システム）や海陸一貫物流情報システム等、交通関連インフラのスマートインフラとしての効率的・整合的な計画・整備・運営
- ・ITSとインターネットの結合等による、海上輸送、航空輸送を含めた物流時間の短縮や荷受けの効率化の促進等世界最先端の環境の整備

など、ITの総合的活用によるインフラの整備

物流システムの標準化・シームレス化・ペーパーレス化の促進

- ・ソフトウェアや電子タグ等の開発及び商取引データの標準化の促進
- ・輸出入・出入港等の行政手続における、情報化によるペーパーレス化及びワンストップサービス化の更なる推進

など、物流システムの円滑化の促進

ITを活用した物流の効率性の向上

- ・情報拠点化の進展に伴う、コンビニエンスストアのネットワーク取引拠点としての活用
- ・モバイル機器を用いた即時性のある在庫管理等、リアルタイムでのサプライチェーンマネジメント
- ・インターネットを使ったトラック荷台の空きスペース利用の仲介サービスの本格運用

など、高度な物流トレースシステムの一般化等による物流の効率性の向上

3. 研究会からの緊急アピール

「世界のベストプラクティス」緊急アピール

「スピード」が重要な鍵となるグローバルな経済社会において、ITを核とした世界最先端の事業環境（世界のベストプラクティス）を早急を実現するため、次の緊急アピールを行う。

とにかく繋ごう。

明日は今日よりすばらしい、未来は今より楽しいはずとの希望と期待を国民全体が持ち合うため、いろいろなモノ・コトをとにかく繋ごう。

既存のインフラをフルに使って、早期に全個人・全職場をインターネットで繋ごう。

低廉な定額料金など使いやすい料金メニューの拡充によって増大する需要を、高速回線インフラの構築に繋ごう。

ITを活用して、「モノの流れ」（物流）と「情報の流れ」（情報通信）を繋ごう。

グローバルに通用するルールをつくり、互いに得意な分野と技術で、日本と世界を繋ごう。

最先端の「感性」と従来からの「匠の技術」を繋ごう。

何でも繋ごう。いつでも、どこでも、誰でも、手軽に繋ごう。～「高と若」、「縦と横」、「官と民」、「旧と新」、「ハードとソフト」等を繋ごう。（個人、企業、政府、様式、施策等）
～

(別 添)

物流・情報通信ベストプラクティス研究会委員名簿

いしはら 石原	かずゆき 和幸	日本航空株式会社 貨物事業企画部 企画マーケティング室 課長補佐
いしはら 石原	せいいちろう 誠一郎	SAPジャパン株式会社 ディレクター エグゼクティブセールス
いで 井出	かずひと 一仁	株式会社日経BP 日経コミュニケーション 編集長
いわた 岩田	しょういちろう 章一郎	アスクル株式会社 代表取締役社長
きたのくち 北之口	よしふみ 好文	ヤマト運輸株式会社 システム改善本部 情報システム部長
こくりょう 國領	じろう 二郎	慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授
はなわ 花輪	じゅんいち 順一	日本郵船株式会社 物流グループ 物流統括チーム 課長代理
ふじた 藤田	しゅうぞう 周三	株式会社ローソン 情報システム室 副室長
まえだ 前田	まさあき 正明	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ MM企画部 MM企画担当部長

(五十音順 敬称略)

(別 添)

物流・情報通信ベストプラクティス研究会検討経過

- 第1回 1月27日(木) 10:00~12:00 (経済企画庁会議室)
研究会の趣旨・検討事項について
- 第2回 2月16日(水) 15:00~17:00 (経済企画庁会議室)
研究会の検討の枠組みについて
- 第3回 3月16日(木) 10:00~12:00 (経済企画庁会議室)
ベストプラクティスに向けた戦略について
- 第4回 4月26日(水) 16:00~18:00 (経済企画庁会議室)
中間報告書(素案)について
- 第5回 5月18日(木) 10:00~12:00 (経済企画庁会議室)
中間報告書(案)について